

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

- 規則正しい生活習慣と学習習慣の確立
- 学習のねらいが明確な授業の展開
- 児童に「できた」を味わわせる授業の推進

＜本年度の学力向上策＞

- 1 規則正しい生活習慣と学習習慣の確立
 - (1) 「東宮下小よい子のきまり」を中心に、学力向上の基盤となる学校内共通の授業規律を教職員が共通理解・共通行動で徹底する。
 - (2) 「東宮下小よい子のきまり」の内容を家庭へ周知し、家庭と連携して、児童の規則正しい生活習慣の確立を目指す。
- 2 学習のねらいが明確な授業の展開
 - (1) 学習のねらいを明確にした授業の発問と板書を研究する。
 - (2) 各教員が年1回の研究授業を実施する。
 - (3) 学習のねらいに合わせた学習プリントを整備・活用する。
- 3 児童に「できた」を味わわせる授業の推進
 - (1) 学習の中で練習問題に取り組み、学習内容を定着させる。
 - (2) 児童が考えを交流する場を設け、自分の考えを認め合う機会をつくる。
 - (3) 学習の振り返りをして、自分の成長を実感できる機会をつくる。
 - (4) 学力調査の結果をもとに、学習上の弱点に合わせた課題を作成し取り組む。

＜本年度の振り返り＞

- 1 児童会を中心とした「あいさつ王決定戦」や七里中と連携した「あいさつ運動」、右側廊下歩行の表示など、様々な活動を実施することで、「東宮下小よい子のきまり」を守る児童が増え、規則正しい生活習慣と学習習慣の確立を図ることができた。
- 2 年7回の研究授業を実施し、授業研究に全教員が取り組むことで、授業力向上を図ることができた。また、さいたま市教育委員会に指導者派遣を要請し、校内の研修やカウンセリングを実施し、学習のねらいを明確にした授業を展開することができた。
- 3 各教員の専門性に基づく一部教科担任制やスクールアシスタント・アシスタントティーチャー・学習ボランティアの活用により、一つの授業に多くの教員等を配することで、きめ細かな指導を継続して実施することにより、児童に「できた」を味わわせる授業を推進することができた。

